

採用情報

採用予定試験区分とよくある質問の回答です。
試験情報の詳細は人事院HPをご確認ください。

採用予定試験区分

総合職(院卒者・大卒程度)	一般職(大卒程度)	一般職(高卒者)
森林・自然環境、デジタル	林学、土木、建築、 デジタル・電気・電子、 機械、行政	林業、農業土木、事務

採用FAQ

Q1. 総合職と一般職の違いは何ですか？

A 総合職は本庁などで政策の企画・立案を行う機会が多いのに対し、一般職は森林・林業の現場で働く機会が多いです。人事交流は盛んに行われており、総合職・一般職ともに様々な経験を積むチャンスがあります。

Q2. 森林・林業の知識がなくても大丈夫ですか？

A 入庁前に知識がなくても大丈夫です。研修制度が整っており、入庁してから学ぶことができます。また、日々の業務を通じ、知識や技術を習得できます。実際に、森林・林業になじみのなかった方も各地で活躍しています。

Q3. 現場(森林)へ行くために体力が必要ですか？

A ある程度の体力は必要ですが、日々の業務の中で次第に慣れ、問題なく仕事ができるようになります。入庁前までに山に入ったことがなかった方も、森林官など現場の第一線で活躍しています。

Q4. 行政や事務区分で入庁しても活躍できますか？

A 行政・事務区分の採用者には、現場に行き技術系の業務を主に担当するキャリアパスも、総務や経理、土地の管理といった総務系の業務を主に担当するキャリアパスもあります。それぞれのキャリアパスの中で事業に貢献し、活躍することが出来ます。



〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1 TEL 03-3502-8111(代)
林政部林政課:内線6005 国有林野部管理課:内線6256
<http://www.rinya.maff.go.jp/>
(交通) 地下鉄霞ヶ関駅(丸ノ内線、日比谷線、千代田線)下車 農林水産省7F

採用情報はこちら



北海道森林管理局

〒064-8537 北海道札幌市中央区宮の森3-7-70
TEL 011-622-5232(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通5-9-16
TEL 018-836-2014(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

関東森林管理局

〒371-8508 群馬県前橋市岩神町4-16-25
TEL 027-210-1156(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>

中部森林管理局

〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5
TEL 026-236-2525(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>

近畿中国森林管理局

〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1-8-75
TEL 06-6881-3420(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

四国森林管理局

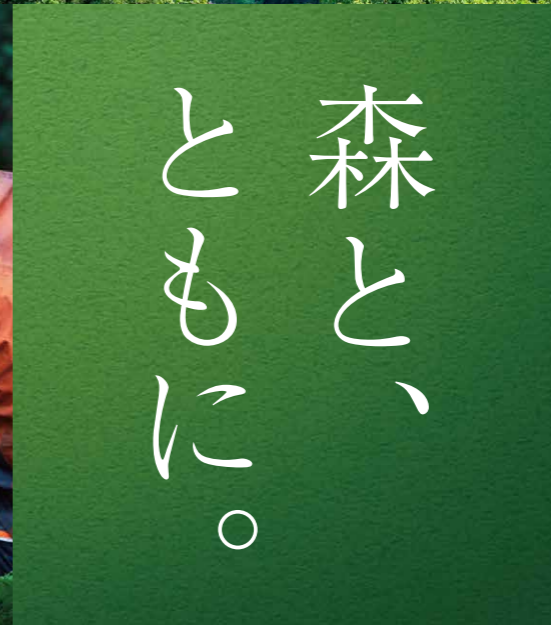
〒780-8528 高知県高知市丸ノ内1-3-30
TEL 088-821-2010(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

九州森林管理局

〒860-0081 熊本県熊本市西区京町本丁2-7
TEL 096-328-3500(総務課)
<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/>

森林技術総合研修所

〒193-8570 東京都八王子市廿里町1833-94
TEL 042-661-7121(総務課)
http://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyuu_zyo.html



FORESTRY AGENCY

林野庁

2024 入庁案内

森をつなぐ、 豊かなみどり。

2

活躍のフィールドは国土の

3

MESSAGE

日本は国土の約7割が森林です。森林には、国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止、木材の生産といった多面的な機能があります。林野庁は、将来にわたって健全な森林を維持し、森林の多面的機能を発揮させるため、森林の適切な整備・保全にかかわる様々な課題に取り組んでいます。

いま、戦後植えられた人工林が育ち、豊富な森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」という循環利用を通じ、次の世代に向けた持続可能な森林づくりを進める時にあります。しかしながら、森林所有者の林業経営への関心が薄れ、適切に管理されていない森林もあります。林業経営を活性化するためには、生産性の向上や木材需要の拡大に向けた取組が不可欠です。

同時に、森林は生物多様性の保全や山地災害を防止するために重要な役割を果たします。奥地の急峻な山脈や水源地域をはじめ、国土に広く分布する国有林では、木材の生産による地域への貢献だけでなく、公益性の発揮を目指した管理経営が一層重要です。

さらに、山村の振興や鳥獣害対策にいたるまで、森林にかかわる仕事は幅広く、そのフィールドは全国に広がっています。

私たちとともに森林と人の未来を創っていきませんか。

CONTENTS

01 INTRODUCTION	林野庁について	2
02 WORK	職員紹介	5
03 INFORMATION	インフォメーション	14

林野庁

森林技術総合研修所

林野庁本庁

森林・林業政策の企画・立案

林野庁本庁では日本の全ての森林と林業・木材産業に関する政策の企画・立案を行っています。林業の成長産業化、森林整備、山地災害対策、山村振興、生物多様性保全、地球温暖化対策など、ローカルからグローバルまで、幅広い課題に取り組んでいます。

林政部

林野庁の全ての施策に関して、予算や制度のとりまとめを担っています。林業の成長産業化に必要な森林資源の循環利用の確立を目指し、木材の利用促進やサプライチェーン構築に取り組んでいます。木材の輸出や合法伐採木材の利用促進、林業の担い手の育成に向けた経営体の支援なども実施しています。

▶職員紹介P5

森林整備部

森林所有者や自治体などが所有する民有林について、国土保全や水源かん養などの多面的機能が発揮されるよう、森林整備の適切な実施に向けた各種施策を進めています。鳥獣被害対策、治山事業による災害防止・復旧や、デジタル技術の活用によるイノベーション、森林吸収源対策や国際協力も担当しています。

▶職員紹介P6

国有林野部

国土の約2割を占め、国土保全、水源かん養、生物多様性の保全や林産物の安定供給に欠かせない国有林野の管理経営を担当しています。国有林の森林計画の作成、造林、間伐、治山などの各種事業の企画・調整を行っています。また、生物多様性の保全と国有林の適切な利用を両立させるための各種施策を推進しています。

01 INTRODUCTION

林野庁について 林野庁の組織と仕事

森林管理局

国有林野の管理経営

日本の森林の約3割は国有林であり、国土の保全、水源かん養等の公益的な機能を有しています。全国7つの森林管理局では、各地方の国有林野の管理経営をとりまとめています。森林管理局のもと、森林管理署等では、国有林野の管理経営に関わる各種事業を行っています。

森林管理局

▶職員紹介P7-8

総務企画部 ● 総務課、企画調整課、経理課

計画保全部 ● 計画課、保全課、治山課

森林整備部 ● 森林整備課、資源活用課、技術普及課

各種センター ● 森林生態系保全センター等

森林管理署・支署

▶職員紹介P9-11

● 総務グループ
● 業務グループ
● 治山グループ

森林事務所

▶職員紹介P12-13

林野庁の業務と国有林



林業の担い手育成



災害対策



鳥獣害対策



木材利用推進



ICT技術を活用した林業の普及



生物多様性の保全



国産材輸出拡大



国際協力



森林環境教育



新規採用職員の声

令和5年度の新規採用職員に聞いてみました。



入庁の決め手は？

企画・立案業務と現場での業務の両方を経験できることです。どちらも経験することで広い視野をもって業務に取り組むことができ、森林・林業の発展につながるのではないかと思います。入庁を決めました。

入庁前と入庁後のギャップはありましたか？

想像以上に幅広い業務に取り組めることです。同期の間でも仕事内容が全然違うので、とても勉強になります。現在私は国際関連業務に携わっていますが、ワークショップの開催等、様々な業務に取り組んでいます。

本間 真由香

林野庁森林整備部
計画課海外林業協力室 海外企画班
総合職(森林・自然環境)



入庁の決め手は？

山の中を歩くことや、木が素材として好きな中で、林野庁では森林の整備・保全から木材として利用されるまで幅広く業務として携わることができる他、海外勤務のチャンスがあることにも魅力を感じ、入庁を決めました。

入庁前と入庁後のギャップはありましたか？

本庁内の仕事の流れは同じでも、どの課に配属されるかによって、入ってくる情報や忙しさが大きく異なることが意外でした。また、フレックスタイム制やテレワークを活用している職員が想像より多くいらっしゃることも驚きました。

野宮 陸

林野庁林政部
木材利用課 企画調整班
総合職(森林・自然環境)



入庁の決め手は？

幅広く日本の森林・林業に携わることができることが、森林が大好きな僕にとって大きな決め手となりました。また、希望すれば全国規模での転勤が可能であり日本全国で様々な経験を積むことができることも決め手の一つです。

林野庁の魅力は？

自然と触れ合える機会がとにかく多いです！現場の出張、獣害対策、調査等々、所属する課のみならず、各森林管理署が行っている取り組みを勉強させてもらえるため、多様な業務に携わることができるのも魅力です。

猪野 このみ

四国森林管理局
森林整備部 森林整備課
一般職(事務)

入庁前と入庁後のギャップはありましたか？

OJTの取り組みにより、自分の担当以外の業務で現場に出させていただく機会があることに驚きました。普段のデスクワークの良い気分転換になっています。

松村 恭佳

九州森林管理局
総務企画部 総務課
一般職(事務)



入庁前と入庁後のギャップはありましたか？

経理担当ですので、現場作業が少ないことなどは入庁前にイメージしていた仕事内容とは異なりました。職場は穏やかな雰囲気、優しく親しみやすい方が多いです。現場では急斜面にへばりついて作業することもあったので、驚きました。

植村 茜

近畿中国森林管理局
石川森林管理署
一般職(林学)



ワークライフバランス

職員のワークライフバランスの実現のため、産前産後休暇、育児休業、フレックスタイムといった制度があります。また、それらの制度を積極的に活用できる職場環境が整っています。



三原 恵里子

林野庁林政部企画課林野図書資料館 総務係長
採用年/平成18年
採用試験種・試験区分/Ⅲ種、行政

ワークライフバランスについて

一人目と二人目連続して育児休業を取得し、子どもたちと毎日朝から晩まで一緒に過ごせたことはとても貴重な時間でした。復帰後は育児時間とテレワークを活用して限られた時間の中で効率的に業務を進めることを心がけています。

国家公務員をめざす学生へのメッセージ

出産と育児は幸せ・可愛い・楽しいことだけでなく、大変なこともたくさんあります。産前産後は特にいろいろ「こと」が一気に押し寄せてきますが、振り返ってみると本当に一瞬のことでした。その時期の「こと」をその瞬間、現場でパートナーと共有できているほど、その後もお互いを思いやり気遣える場面が多くなると感じます。ぜひ育児に伴う休暇・休業制度を活用して、たくさんの「こと」を共有してみてください。

本庁では、日本全体の森林・林業の未来を考え、政策の企画・立案を行っています。

森林・林業・木材産業の現在の動向と、未来への展望を綴る



森林・林業白書イメージキャラクター「きぐりー」「もりー」とともに

仕事の内容とやりがい

毎年5～6月頃に閣議決定する「森林・林業白書」を制作する仕事です。各課の協力を得て内容を練り、庁内幹部への説明や審議会によってブラッシュアップさせ、省内協議、大臣説明、各省協議、校正、印刷発注、閣議請議といった手順を滞りなく進めることがミッションです。さらに閣議決定後は、対面やオンラインの説明会等による普及活動を行います。

予算業務や国会審議への対応はありませんが、施策や社会の動向を俯瞰する目と、わかりやすく簡潔に表現する編集力が養われるとともに、林野庁内外の方と幅広く接することができます。また、これまでの様々な業務やその中で多くの出会いの全てが活きていると感じています。

印象に残った出来事

審議会での意見をきっかけに、昭和39年度からの白書すべてを電子化して一括検索できるサイトを林野庁ホームページに開設しました。時代に合わせた小さな一歩ですが、研究者の方などから、長いスパンで変化する森林・林業の世界をつかみやすくなり、学生への指導にも使いやすくと好評です。執筆する私たちも過去白書での表現や事例を確認するのが簡単になりました。

林野庁を目指す方へメッセージ

行政は様々な業界で頑張る国民の皆様を支える縁の下の力持ちだと思っています。同時に、ただルールを守るだけでなく、時代の変化を読んで未来を考え、必要とあれば新しくルールを考えていくこともできます。特に森林・林業の分野は、長い時間スパンで動いていきますが、国土や生物多様性の保全、持続可能な社会づくりといったテーマと密接に関わっており、その影響は大きいと思っています。志ある皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。



打合せ風景。テレワーク中の職員もリモートで参加し、意見を交わします。



大学での対面・オンライン併用による白書説明会の様子。

中村 誠 Nakamura Makoto

林野庁林政部企画課
課長補佐(年次報告班担当)

- H20.4 入庁(1種、農学III)
- H20.4 林野庁森林整備部研究・保全課 係員
- H21.4 東北森林管理局下北森林管理業務第二課 森林育成係長
- H22.4 東北森林管理局宮城北部森林管理署 森林官(南鬼首担当区)
- H23.5 東北森林管理局計画部計画課 経営計画第三係長
- H24.4 農林水産省大臣官房総務課国会班 国会第1係長
- H26.4 林野庁林政部木材産業課住宅資材班 住宅資材企画係長
- H28.9 林野庁林政部木材産業課付
- H29.3 外務省出向(在インドネシア日本大使館二等書記官)
- R2.4 関東森林管理局総務企画部 企画調整課長
- R4.8 林野庁林政部企画課 課長補佐(年次報告班担当)

ある日のスケジュール

- 9:30 出勤、メール確認
- 10:00 班員と打合せ(昨年度からの変更点等)
- 12:00 休憩
- 13:00 特集のための情報収集・執筆
- 15:00 班員と打合せ(掲載事例の検討)
- 16:00 課長へ進捗報告・方針相談
- 16:30 関係課と打合せ(掲載事例等)
- 18:15 業務終了

政策Keyword

「森林・林業白書」とは

森林・林業基本法に基づいて、毎年国会に報告することが義務付けられている文書で、森林・林業・木材産業の動向や林野庁の施策全体を簡潔かつ確実に記録・分析する役割を持つとともに、国民の皆様にわかりやすい形で広報するツールにもなるものです。掲載データや図表は基礎的なデータとして各方面で活用いただいているとともに、本文は政府の公式見解として引用されるので、正確さが求められます。



林野庁 編

カーボンニュートラルの実現を目指して



仕事の内容とやりがい

森林利用課は、植樹祭などの緑化行事や山村振興業務、森林経営管理制度・森林環境譲与税、生物多様性保全や気候変動に関する業務などを行っています。その中で私は、地球温暖化防止に向けた森林の二酸化炭素吸収に関する案件や、気候変動の影響へどのように適応するかという政府の計画に関わっています。最近では、適切に管理された森林の二酸化炭素吸収量を「クレジット」として国が認証する「J-クレジット制度」にも携わっており、カーボンニュートラル達成に向けた取組として急速に関心が高まっていることを実感しています。この制度に関する問合せは多いですが、その分多くの方に活用いただけることに繋がるのでとてもやりがいを感じています。

職場の雰囲気

森林の二酸化炭素吸収などに関する業務を行っているチームに関しては、複数で関わっているものと、それぞれ担当しているものがありますが、共通の課題について皆で解決しようという雰囲気があります。とりわけ林野庁本庁に関しては、異動する度に周囲の職員とほとんど面識が無い状態からスタートすることが多かったですが、仕事を覚えると同時に職員の人となりも分かってくる中で、私の中ではこの過程も仕事の楽しみの一つです。

印象に残った出来事

地球温暖化対策の政府計画に記載している森林・林業の施策が1年間でどれだけ進んだかなど、他省庁から依頼が来るものを関係する課に照会し調整を行うのもメイン業務の一つであり、依頼元と林野庁内の意見が合わない際に妥協点を示すことに苦労することがあります。また、J-クレジット制度の担当になってあまり日数が経たないうちに県からの依頼でセミナーの講師を務め、準備も含めて良い経験になりました。



班のメンバーで打合せ。共通の課題は、皆で考え、解決に向かっていきます。



森林・林業関係者に向けた解説ハンドブックも作成・公開しています。

安田 麻美 Yasuda Mami

林野庁森林整備部森林利用課
森林吸収源企画班森林吸収源企画係長

- H19.4 入庁(II種、林学)
- H19.4 林野庁森林整備部研究・保全課 係員
- H20.4 日高南部森林管理署治山課えりも治山事業所 主任
- H21.4 渡島森林管理署治山課 治山第一係長
- H23.4 北海道森林管理局後志森林管理署 森林官(京極担当区)
- H24.4 北海道森林管理局檜山森林管理業務課 森林育成係長
- H25.4 北海道森林管理局檜山森林管理署 森林整備官(森林育成担当)
- H27.4 北海道森林管理局総務企画部総務課 共済組合係長
- H30.4 林野庁国有林野部管理課共済組合給付班 給付総括係長
- H31.4 林野庁森林整備部研究指導課森林除染技術開発企画班 実証事業係長
- R2.4 林野庁森林整備部研究指導課技術指導班 指導係長
- R4.4 林野庁森林整備部森林利用課森林吸収源企画班森林吸収源 企画係長

ある日のスケジュール

- 9:30 出勤、メール確認、電話対応
- 11:00 事業の委託先との打合せ
- 12:00 休憩
- 13:00 委託事業に関する事務
- 15:00 本省や林野庁内からの各種依頼対応
- 16:30 J-クレジット制度に関する企業との意見交換
- 18:00 意見交換の記録作成、メール確認
- 19:00 業務終了

政策Keyword

J-クレジット制度(国内における地球温暖化対策のための排出削減・吸収量認証制度)

J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や森林経営などの取組による、CO2等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度であり、環境省・経済産業省・農林水産省により運営しています。森林分野では、適切な森林整備を行った場合に、森林の成長による吸収量を算定してクレジットとして認証申請することができます。クレジット収入を通じて林業経営基盤が強化されることで、林業の「伐って、使って、植えて、育てる」循環の確立や森林による温暖化対策に寄与します。



全国7つの森林管理局では、各地方の国有林野の管理経営をとりまとめています。

森林の機能を発揮させ、 くらしを守る



井田 悠一郎 Ida Yuichiro

中部森林管理局
計画保全部治山課調査係長

- H22.4 入庁(11種、林学)
- H22.4 北海道森林管理局空知森林管理署業務第二課 販売係
- H22.8 北海道森林管理局空知森林管理署 岩見沢森林事務所
- H23.4 北海道森林管理局上川中部森林管理署治山課 治山第二係長
- H26.4 北海道森林管理局宗谷森林管理署 森林官(礼文担当区)
- H29.4 北海道森林管理局後志森林管理署治山グループ 治山技術官
- H31.4 北海道胆振総合振興局産業振興部林務課治山係 主任
- R4.4 中部森林管理局計画保全部治山課 調査係長

🕒 ある日のスケジュール

- 8:30 出勤、メール確認
- 9:00 調査業務設計積算
- 12:00 休憩
- 13:00 事業者と打合せ
- 15:00 各署担当者と電話打合せ
- 16:00 資料整理・取りまとめ等
- 17:15 業務終了

仕事の内容とやりがい

治山課では、豪雨等に伴う土石流により荒廃した溪流に治山ダムを設置したり、崩れた山の斜面に土留工などの構造物を設置することにより、荒廃した山地を復旧する「治山事業」を行っています。

私が担当している調査係は、主にその治山工事を実施するために必要となる調査・測量・設計業務の発注事務を行っています。直接、工事を担当するものではありませんが、荒廃した山地をどのように復旧していくか計画を立てたり、工事の施工に必要な構造物の仕様や材料等について検討するなど、事業を円滑に進めるうえで重要な業務となっています。この他にも、絶滅危惧種に指定されている希少猛禽類の生息に治山工事が与える影響の調査や治山施設のモニタリング調査など業務内容は多岐にわたる難しい内容の業務もありますが、やりがいを感じられる仕事です。

印象に残った出来事

着任当初は、管内の概要すらなかなか覚えられない中、発注に追われる毎日でしたが業務をこなす中で、どこでどんな事業を実施しているのかを把握することができました。また、デスクワークが中心となりますが、たまに行く現場出張の際に実際に現地を見ることができ、現場での気付きを普段の業務にも活かせるよう、日々勉強と考えながら取り組んでいます。

林野庁を目指す方へメッセージ

林野庁は全国組織で異動もあり、業務内容も多岐にわたりますが、地域ごとに異なる山があり、森林があり、それを自分の肌で直接感じることができる職場です。国民の森林である国有林を管理するという責任とやりがいのある業務に携わることができる林野庁で一緒に働いてみませんか。



市町村との打合せで業務内容について説明。



担当として携わった治山施設。被災した山地の早期復旧に役立ちます。

各種センターでは、技術開発や希少野生動植物の保護管理といった専門業務を行っています。

豊かな森林を守り、 未来へ伝える



寺田 崇晃 Terada Takaaki

北海道森林管理局
計画保全部知床森林生態系保全センター専門官

- H30.4 入庁(一般職、林学)
- H30.4 北海道森林管理局
網走西部森林管理署西紋別支署北雄森林事務所
- R3.4 北海道森林管理局
計画保全部知床森林生態系保全センター 一般職員
- R5.4 北海道森林管理局
計画保全部知床森林生態系保全センター 専門官

🕒 ある日のスケジュール

- 8:30 出勤、メールチェック
- 9:00 委託事業者との打合せ
- 11:00 貸与物品の準備
- 12:00 休憩
- 13:00 鳥獣捕獲許可申請の作成
- 14:30 有識者会議の事前打合せ
- 16:30 会議資料作成
- 17:15 業務終了

仕事の内容とやりがい

知床森林生態系保全センターでは知床世界自然遺産地域の保護に関わる業務を行っています。多くの方々の関心を集める世界自然遺産ですが、登録後も遺産価値を保ち続けるため様々な取組が行われています。私はエゾシカの個体数調整と希少種の保護、グリーン・サポート・スタッフ(巡視員)の雇用、ヒグマ対策や歩道利用に関わる会議対応などを担当しています。多種多様な形で保護が行われている地域のため、事業実施に当たっては許可手続きや希少種への影響の検討など沢山の調整が必要となり大変なこともありますが、その分やり遂げることの重要性を日々実感しています。

職場の雰囲気

職員数は5名で、夏季はグリーン・サポート・スタッフ3名も雇用し賑やかになります。もともと少人数なため何でも気軽に相談できる雰囲気、担当の枠組みにとらわれず日常的にカバーしあいながら業務を進めています。隣接する国設知床野営場(網走南部森林管理署)には知床八景の一つ「夕陽台」があり、夏は野営場の宿泊客が、冬は流氷を眺めに多くの観光客が訪れる、風光明媚なところです。

印象に残った出来事

担当するエゾシカやヒグマの有識者会議では林野庁事業について説明を行います。過去の経緯を踏まえる必要があることから、遺産登録前からの議事録や報告書を何度も読み返しました。知床世界自然遺産の会議は原則として公開で行われ、議事録も全て記録に残ります。組織としての立場をその場で回答することもあり緊張しましたが、他では得難い良い経験になっています。



知床ヒグマ対策連絡会議の様子。



エゾシカ対策上の特定管理地である知床岬。貴重な動植物を守ります。

森林管理署等では、複数の市町村にまたがる区域の国有林野の管理経営に関わる各種事業を行っています。

国民の森林を守り、活かす



仕事の内容とやりがい

国有林野は、地域振興や福祉向上を目的として、土地の貸付けや、森林環境教育の一環として造林地を提供するなど、様々なことを実施しています。私の仕事は、地域と森林管理署が協力しながら、国有林野が有効的に活用されるよう窓口になることです。国有林野を活用したいと要望があった際には、その目的に合わせて、制度や手続き方法を案内します。しかし、国有林野もすべて使用できるわけではありません。森林管理署で実施する事業や法律の制限で、どうしても相手の要望に応えられない場合もあります。そういった際には、こちらで代替案を出したり、納得してもらえらるまで話合います。そういった話合いを通して「森林管理署に相談してよかった。」と言ってもらえるのが一番うれしいです。

職場の雰囲気

困ったことがあったらすぐ上司や同僚に相談できる雰囲気があります。OJTや研修も充実していて、業務面のフォロー体制がされています。また、有給休暇がとりやすい組織風土ができており、夏季休暇や年末年始に合わせて長めに休暇をとることもできます。急な介護休暇や子どもの看護休暇であっても、周囲のサポートがあるので安心して休める職場です。

印象に残った出来事

北海道の森林はエゾシカからの被害に悩まされています。せっかく植えた苗木を食べられてしまったり、成長した木は樹皮を食べられて枯れてしまいます。北海道の一大産業である農業にもエゾシカは大きな被害を与えています。網走中部森林管理署では市町村と協定により捕獲連携事業を行っています。市町村担当者だけではなく、猟友会の方々や地元の農家の方のお話を聞く機会もあり、この業務を通して、農林業が抱えている課題を考えるきっかけを得ました。

奥川 晴香 Okugawa Haruka

北海道森林管理局
網走中部森林管理署事務管理官(管理担当)

- H27.4 入庁(一般職、林学)
- H27.4 北海道森林管理局上川南部森林管理署総務グループ係員(経理担当)
- H29.4 北海道森林管理局上川南部森林管理署業務グループ係員(森林育成担当)
- H30.4 北海道森林管理局根釧西部森林管理署 右股森林事務所
- H31.4 北海道森林管理局根釧西部森林管理署総務グループ係員(経理担当)
- R3.4 北海道森林管理局石狩森林管理署総務グループ係員(管理担当)
- R5.4 北海道森林管理局網走中部森林管理署総務グループ係員(管理担当)
- R5.7 北海道森林管理局網走中部森林管理署総務グループ事務管理官(管理担当)

ある日のスケジュール

- 8:30 出勤、メール確認
- 9:00 エゾシカ捕獲連携事業地の現地確認
- 12:00 休憩
- 14:00 帰署・後片付け
- 15:00 貸付要望者との打合せ
- 16:30 打合せ記録簿の作成・署内共有
- 17:15 業務終了



エゾシカ連携捕獲地にて。誘引用のサイレージ(餌)とエゾシカ。



レクリエーションの森としての国有林野の活用。木製の看板で利用者にお知らせしています。

森林と人をつなぐ 林道の創造



仕事の内容とやりがい

皆さんこんにちは、私は東北森林管理局仙台森林管理署で土木業務担当をしている早川というものです。土木業務という耳慣れない言葉かもしれませんが、簡単に言ってしまうと林道の管理等を担当しています。林道の管理と言うと皆さんがイメージしている森林施業の中では地味に聞こえるかもしれませんが、林道が無ければ山の中に車が入ることは出来ず、木材の搬出等にも多大な影響を与えるため、地味ながらも縁の下の力持ちの様な働きをしています。それに、市町村と共同で管理している道路を直した時は、市町村の担当者や地元の人に喜ばれたりするので、自分がした仕事が人のためになっていることを実感しやすい担当でもあると思っています。

印象に残った出来事

令和4年の3月に福島県沖で地震があった際に、仙台森林管理署と宮城県川崎町が共同で管理している林道で法面崩壊があり、林道が通行止めになりました。その奥に令和4年度の伐採予定箇所や、一般の方も来る釣り堀があったため、急いで現場の測量・発注を行いました。迅速に対応したためなんとか4月中に通行が可能になり、町の担当者や釣り堀の管理人さんから感謝され、頑張って対応して良かったなど実感しました。

林野庁を目指す方へメッセージ

この職場は、森林施業に興味がある人は当然ですが、あまり山に興味がない人でも、ほかの官公庁では経験できない色々な体験ができます。また、転勤が多いため、今までに住んだことのない色々な土地に住むことができ、各地域の美味しいものを食べたりもできます。少しでも興味を持ってくれたら、職場体験等に参加してくれたらうれしいです。

早川 慶 Hayakawa Kei

東北森林管理局
仙台森林管理署森林整備官(土木担当)

- H22.4 入庁(II種、林学)
- H22.4 東北森林管理局仙台森林管理署 根白石森林事務所
- H23.4 東北森林管理局下北森林管理署 森林官(易国間担当区)
- H25.4 東北森林管理局宮城北部森林管理署業務第二課 土木係長
- H26.4 東北森林管理局宮城北部森林管理署業務グループ 森林整備官(土木担当)
- H28.4 東北森林管理局置賜森林管理署業務グループ 森林整備官(土木担当)
- H30.12 東北森林管理局森林整備部森林整備課 路網計画係長
- R3.4 東北森林管理局仙台森林管理署業務グループ 森林整備官(土木担当)

ある日のスケジュール

- 8:30 出勤、メール確認
- 8:40 グループ内打合せ
- 9:00 林道工事監督のために出張
- 10:30 現場到着、監督用務
- 12:00 休憩
- 13:00 森林官から報告のあった林道の現場確認
- 15:30 帰署、出張中にあった電話の対応
- 16:00 翌日の打合せ資料作成
- 17:15 業務終了



林道を検査中の様子。設計どおりに完成しているか確認します。



完成した林道。木材搬出や森林バトロールなどに必要不可欠です。

国有林野の管理経営の下支え



高山 亜弓 Takayama Ayumi

東北森林管理局
仙台森林管理署事務管理官(経理担当)

- H31.4 入庁(一般職、行政)
- H31.4 東北森林管理局総務企画部総務課 共済組合係
- R4.4 東北森林管理局仙台森林管理署 事務管理官(経理担当)

ある日のスケジュール

- 8:30 出勤、メール確認
- 9:00 支払書類の確認・入力
- 11:00 光熱費の支払状況確認
- 12:00 休憩
- 13:00 庁舎内必要物品の調達
- 15:00 旅費支払の決裁
- 16:00 入札打合せ・準備
- 17:15 業務終了

仕事の内容とやりがい

経理の仕事は、主に支出・収入事務と庁舎の管理があります。支出の仕事では、工事や森林整備など各事業の実行に必要な経費の支払いについて、収入の仕事では、土地貸付、立木販売(山の立ち木を伐らずに売る方法)等について、必要な書類を確認、集計システムへ入力した後、局へ必要書類を送付します。庁舎管理では、職員が使用する複写機やガソリン等の契約、電気代等の光熱費の支払いと予算管理を行っています。

正確で迅速な事務処理を行わなければならないので大変だと感じることがありますが、円滑な経理事務の執行と職員が快適に業務ができる環境の整備によって、国有林野事業の下支えとして役立っていることにやりがいを感じています。

職場の雰囲気

職場は相談しやすく、風通しの良い雰囲気です。初めて経理担当になったときは不安がありました。周りのサポートのおかげで今では自信をもって仕事ができるようになりました。

また、ワークライフバランスを保って働ける環境です。休暇が取得しやすいため単身赴任や子育て等それぞれの家庭事情と仕事を両立している方が多いです。

林野庁を目指す方へメッセージ

OJTにより担当業務以外の現場を見て勉強する機会があります。そのため様々な経験を通じて視野を広げることができます。

また未経験の仕事に従事となった場合でも、丁寧に教えてくれる環境があるため、安心して働けます。



署内でシステムへの入力作業中。経理担当として、正確なチェックは欠かせません。



入札準備の様子。公正な入札を行うため、必要事項は入念に確認します。

森林事務所では、国有林の最前線で森林官が現場を歩き、地域にふさわしい森林の管理経営に取り組んでいます。

国有林野の現場の最前線



塩谷 智也 Shiotani Tomoya

関東森林管理局
会津森林管理署森林官(湯野上担当区)

- H26.4 入庁(一般職、林学)
- H26.4 東北森林管理局岩手北部森林管理署 一般職員
- H27.10 東北森林管理局計画保全部計画課 企画係
- H30.4 林野庁林政部林政課主計班 予算第一係
- H31.4 関東森林管理局伊豆森林管理署 森林官(松崎担当区)
- R2.10 関東森林管理局伊豆森林管理署 森林整備官
- R3.4 関東森林管理局伊豆森林管理署 事務管理官
- R5.4 関東森林管理局会津森林管理署 森林官(湯野上担当区)

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤、メール確認
- 9:00 立木販売予定箇所の現地案内
- 12:00 休憩
- 13:00 造林事業監督
- 15:30 貸付箇所確認
- 16:30 帰所、メール確認
- 16:40 監督日誌等作成
- 17:00 業務終了

仕事の内容とやりがい

森林官の仕事は、国有林野の現場の最前線で国有林の管理をする仕事です。毎日森林に入り、現場を歩いて変わったところがないかパトロールをしたり、林道の巡視や維持管理をするほか、造林事業の監督、木材販売のための調査などを行っています。

国有林の木材を買い取りたい、国有林の土地を一時使用したいといった様々な要望があった際の相談窓口としての役割もあります。私が管轄する湯野上担当区は、民有地と隣接して事業が行われるところも多く、地域の方の協力は欠かせません。

山での作業は体力的に大変な部分もありますが、自分が広大な国有林のフィールドの管理者として、日々森林と向き合えることにやりがいを感じています。

印象に残った出来事

熊の皮剥ぎ被害が多発した現場での間伐事業を監督した際のことです。どのように木を切り・木を残すか悩ましいところではありましたが、地元の請負業者さんが真剣になって一緒に考えてくださり、共に何度も山の中を周り相談しながら進めることができました。画一的に処置するのではなく、時間はかかりますが山のために良いようにと、地元の業者さんと森林づくりのことを真剣に取り組むことができよかったです。

林野庁を目指す方へメッセージ

国有林は広く全国各地にあり、その土地ごとに様々な違いがあります。土地柄に合わせてどう森林づくりをしていくのか、将来を見据えながら日々森林づくりに関わっていけるというのが最大の魅力です。

すぐに形にならない部分も多い仕事ではありますが、共に力を合わせていけると嬉しいです。



造林事業請負業者と苗木の検査をしている様子。植える前の苗木に問題がないかを確認します。



立木の直径を計測している様子。伐採予定量を確認するために必要な作業です。

地域とともに国有林を守り 未来の森林をデザインする



西坂 志帆 Nishizaka Shiho

四国森林管理局
四万十森林管理署森林官(三原担当区)

- R2.4 入庁(総合職、森林・自然環境)
- R2.4 林野庁林政部企画課 企画第二係
- R3.4 四国森林管理局計画保全部計画課 生態系保全係
- R4.4 四国森林管理局四万十森林管理署 森林官補(三原担当区)
- R5.4 四国森林管理局四万十森林管理署 森林官(三原担当区)

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤、メール確認
- 9:00 収穫調査
- 12:00 休憩
- 13:00 林道巡視
- 14:30 造林事業(単木保護設置)の資材検査
- 16:00 帰所、メール確認
- 16:15 調査データ整理、監督日誌等作成
- 17:00 業務終了



ドローンで撮影した管内の国有林。伐採が行われた箇所がよくわかります。



単木保護の設置後の様子。シカやノウサギから苗木が食べられるのを防ぎます。

仕事の内容とやりがい

巡視や調査、間伐等の事業の監督など国有林の現場に関する幅広い業務を担当しています。人工林が多い三原担当区内では、主伐、植栽や下刈、間伐等が多く行われています。また、山と集落が近く、地域の主要産業である農業等の水源地となっている国有林もあります。そのため、事業を計画・実行する際には、地元関係者にご理解いただけるよう連絡調整を行うなど地域と国有林を繋ぐ役割も果たしています。

先人が植え守り育ててきた森林と、植栽や下刈を経て苗木が成長していく過程を目にする中で、「伐って、使って、植えて、育てる」という林業のサイクルを回し、森林を次の世代に引き継ぐための一端を担っていることにやりがいを感じます。

職場の雰囲気

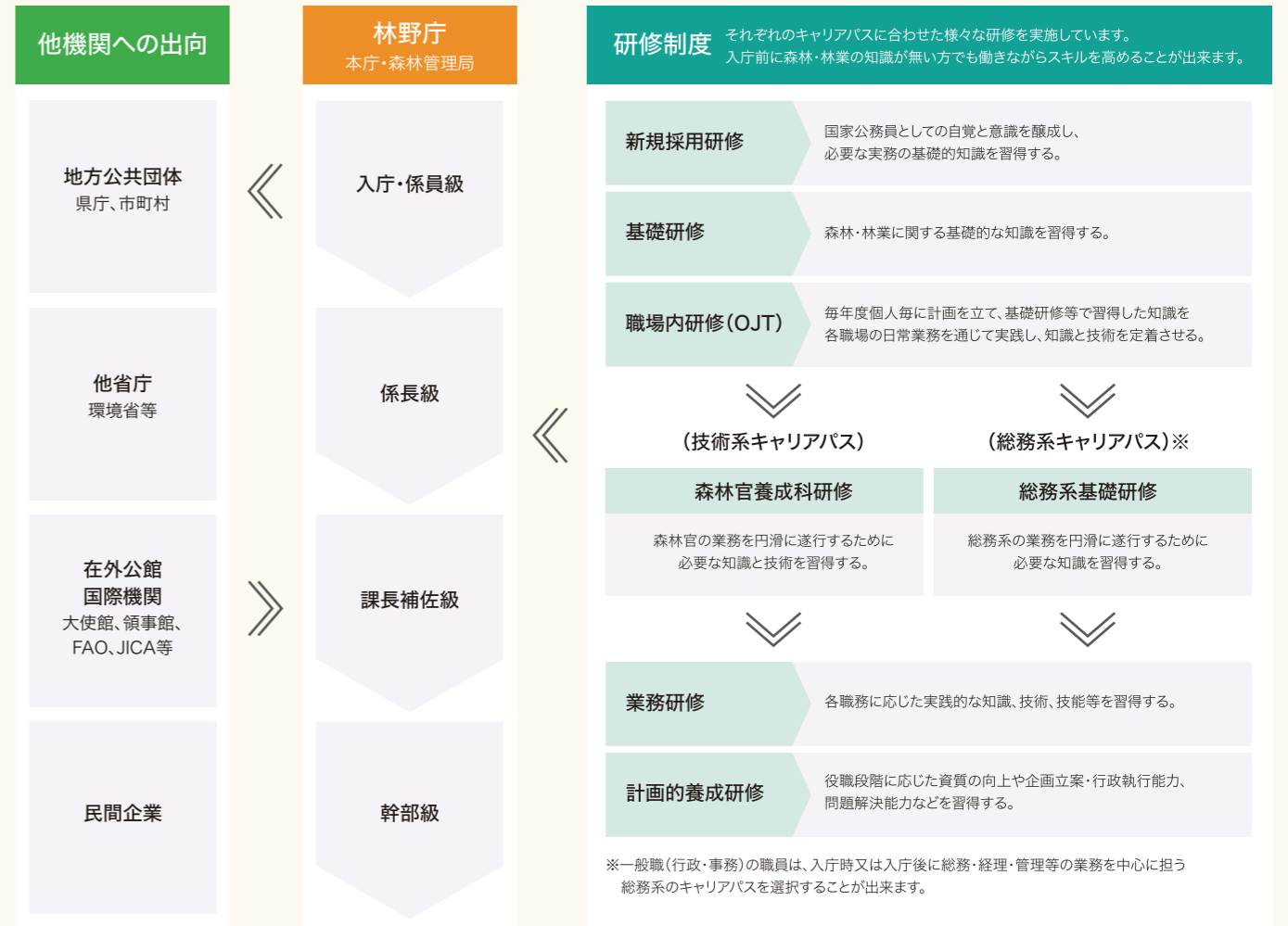
三原森林事務所には森林官1名のみが配置されており、1人では難しい作業や分からないことがある場合には森林管理署や近隣の森林事務所に相談し協力を得ながら業務を行っています。最初は現場業務に関する知識や経験が十分ではなく不安もありましたが、親身になって話を聞いて力を貸してくれる職員ばかりなので心強いです。また、会議や勉強会への参加等、森林・林業について広く学べる機会もあります。

印象に残った出来事

豪雨後には迅速な被害確認が求められる中、役場より林道被害等の情報をいただき円滑な対応ができたことです。役場等地元関係者と「顔の見える関係」を構築することで、有事の際に加え、日頃の業務においても相談や連携がしやすくなりました。また、地域住民からの要望対応を行った際に「三原に森林官がいて、すぐに対応してくれて助かった」と言っていただけでも、地域に貢献できる一層尽力したいと感じました。

キャリアパス・研修制度

入庁後は2～3年程度のサイクルで異動し、様々な業務を経験しながらキャリアアップしていきます。



出向中の職員の声



高橋 潤平

北海道十勝総合振興局
産業振興部林務課 森林整備係
採用年/令和2年
採用試験種・試験区分/
一般職、林学

北海道の十勝総合振興局で主に山に植える苗木の需給調整やコンテナ苗施設の整備事業、特定増殖樹種(クリーンラーチ)採取園整備の事業などに携わっています。十勝管内は林業が盛んな地域で、苗木も道内でトップクラスの生産量を誇っています。振興局の職員は苗木の生産者や、実際に苗木を植えている事業者と係わる機会が多いです。苗木生産は林業のスタート地点とも言え、とても重要です。知れば知るほど奥が深く、魅力を感じています。優良苗木の安定供給の一助となるべく、職務に励んでいきたいと思っています。



江口 隆祥

在マレーシア日本国大使館
二等書記官
採用年/平成22年
採用試験種・試験区分/
II種、行政

私はマレーシア国サバ州・サラワク州において、地元政府機関との緊密な関係構築、経済動向の調査、ODA経済協力案件形成、日系の企業相談、現地産業界・商工会議所からの要請対応、文化交流活動の企画等々、非常に多岐にわたる業務を担当しています。時にはクアラルンプールの日本国大使から、管轄州で開催される国際行事へ代理出席するよう指示があるので、日頃から政治・経済状況にアンテナを張り、いつでも対応できるようにしています。管轄州内の政府要人、産業界から日本人に寄せられる期待が非常に大きいことに驚きがあるとともに、誇らしくもあります。